



2023年度
プロジェクト科目
テーマ募集

社会の教育力を
同志社大学へ

あなたの提案が授業になる!

- ◆いま、社会を生き抜く智恵・技術が求められています。
- ◆プロジェクト科目とは…「現場」に学び、学生自らが考え、行動する授業です。
- ◆プロジェクト科目を教員と共に担当してみませんか？
- ◆企業・団体・個人より募集します。ユニークなテーマを待っています!

【応募期間】

2022年8月22日(月)～

9月2日(金) ※必着

“同志社大学 プロジェクト科目”で検索!>>>



■プロジェクト科目とは？

学生主体の実践型・参加型の学習機会を重視したプロジェクト・ベースド・ラーニング (PBL) を基本とする授業科目です。

目的

「プロジェクト科目」は、地域社会の方々にテーマをご提案いただき、地域社会と企業がもつ「教育力」を大学の正規の教育課程の中に導入することによって、学生に生きた智恵や技術を学ばせるとともに、「現場に学ぶ」視点を育み、実践的な問題発見・解決能力など、いわば学生の総合的人間力を養成することを目的としています。

特徴

- ・公募制
学外からテーマ・担当者を公募
- ・全学共通教養教育科目
学部・学年横断型・全学年の参加
- ・少人数制
1プロジェクト5～19名で構成
- ・社会連携型
学外の調査や取材、成果発表等も体験



2022年度のテーマ例

- ・持続可能社会実現プロジェクトー地域資源を活かしてー
 - ・留学生と創る!京の台所錦市場(食文化)マイクロツーリズム読本
 - ・京都の伝統織物ができるまでーオンライン体験を考えるー
 - ・“withコロナ時代”のコミュニティカフェのデザイン
 - ・クリエイティブな映像制作でインターネットの安心安全を守る!
 - ・京丹後移住促進プロジェクト~新たな地方移住の仕組みづくり~
 - ・伝統を未来へつなぐために古典籍の魅力を子どもたちへ
- etc...

■開講までのスケジュール



■授業の流れ(展開モデル)

決める	<科目担当教員間の連携> 授業の担当、評価方法・評価基準を決め、授業計画を立てます。シラバスとして学生に提示します。 <登録者の選考> 登録者を選考します。必要に応じて面接を行います。
つかむ	<プロジェクトの開始> プロジェクトの目的や最終成果のイメージを全員が共有できるように話し合います。役割分担を決め、それぞれの活動を全体の活動にどのようにフィードバックさせていくかを明確にしておきます。活動のルールや成績評価基準についてもメンバー間で確認しておきます。 <企画書の作成> 問題点を洗い出し、解決方法を考え、プロジェクトの方向性を定めていきます。それにともなった企画書を作成します。
深める	<プロジェクトの運営> 活動報告書を提出、それぞれの作業進捗状況を確認し、定期的に活動を振り返りながら、計画の見直しを随時行います。必要な資源(授業運営費など)の配分を考慮し、活動をより効率化、活性化させるための工夫を考えていきます。 <調査活動> 限られた授業運営費を有効に活用して、調査活動を行っていきます。知識や情報を収集し、学習を高めていきます。
伝える	<成果の完成> メンバーの調査結果、活動結果を集約し、プロジェクトとしての成果報告としてまとめていく作業を行い、成果(物)の完成を目指します。 <成果報告> プロジェクトの目的、経緯を踏まえた上で、成果を纏めていきます。成果について学期ごとの成果報告会で発表します。
振り返る	<自己点検・評価、他己評価> 成果報告会の講評や、個人の活動結果、プロジェクトの成果を踏まえて、自己の活動の振り返りを行います。 他己評価、グループ評価を通じて客観的に自己の活動を把握します。 <プロジェクト評価> 最終的にプロジェクトの目標・目的がどこまで達成できたか、総合的な評価を行います。担当者は、最終成果報告書をまとめ、提出します。

■応募方法について

2023年度プロジェクト科目公募に関する詳細については、
下記URL「同志社大学プロジェクト科目HP/テーマ募集内の募集要領」をご覧ください。(QRコードからのアクセス可)

<https://pbs.doshisha.ac.jp/theme/list.html>



お問い合わせ 同志社大学 教育支援機構教務部今出川校地教務課 プロジェクト科目検討部会 事務局
住所: 〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入
電話: 075-251-4630 FAX: 075-251-3064
E-mail: ji-pbl@mail.doshisha.ac.jp